

# フタル酸エステルの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和49年7月2日～8月10日
2. 供試化学物質名 フタル酸エステル(4点)
  - DHP(ベンゼン-1,2-ジカルボン酸ジヘプチル)
  - DBP(ベンゼン-1,2-ジカルボン酸ジブチル)
  - DOP(ベンゼン-1,2-ジカルボン酸ジオクチル)
  - DIDP(ベンゼン-1,2-ジカルボン酸ジイソデシル)
3. 試験方法及び条件 環保業第5号、薬発第615号、  
49基局第392号による。

## 3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

## 3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による。

## 3.3 生分解試験後の直接定量法

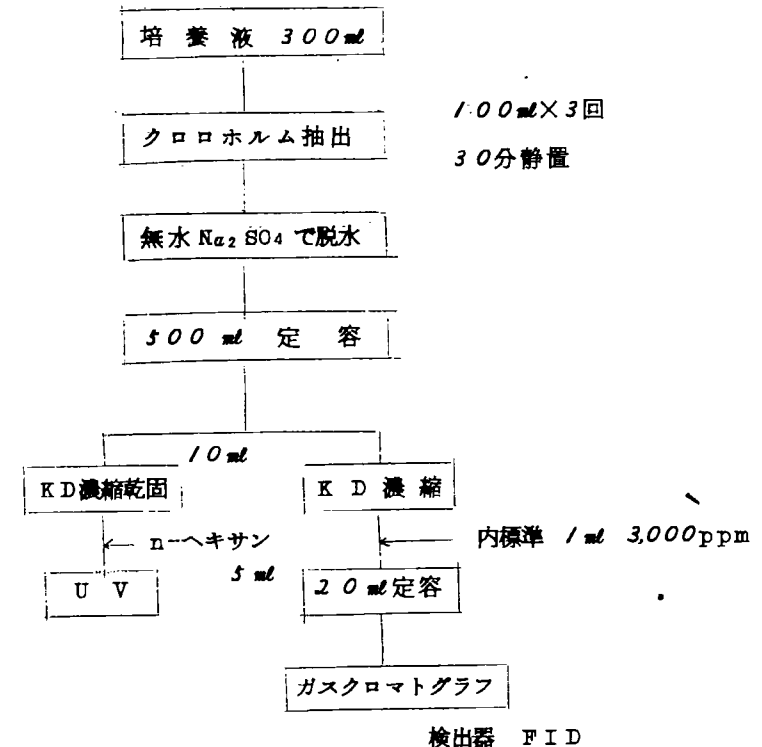
### a) 使用分析機器

紫外可視自記分光光度計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(以下余白、次葉に続く)

## b) 分析試料の前処理



## 内標準

DBPに対しDOPを使用

DOPに対しDBP、DIDPを使用

DHPに対しDIDPを使用

DIDPに対しDOPを使用

## c) 分析条件

紫外可視自記分光光度計

波 長 210nm~320nm

スリット幅 4nm

使用セル 10mm×10mm

#### ガスクロマトグラフ

キャリアガス N<sub>2</sub> 1.3ml/min

充てん剤 OV-1 2%

ガラスカラム 2mmφ×1m

昇温条件 DBP 154℃(4分間保持)~220℃昇温

昇温速度 10℃/min

DOP 200℃(6分間保持)~280℃昇温

昇温速度 15℃/min

DHP 190℃(5分間保持)~280℃昇温

昇温速度 15℃/min

DIDP 200℃(6分間保持)~280℃昇温

昇温速度 15℃/min

#### 4. 試験結果

##### 4.1 酸素消費量

	分解度(%)	付図番号
DHP	36	1
DBP	69	2
DOP	29	1
DIDP	2	2

##### ※ 21日後の分解度

	分解度(%)	付図番号
DOP	43	3
DIDP	42	3

##### ※ 参考データ

##### 4.2 直接法による定量

##### 紫外可視自記分光光度計

	分解度(%)	付 図 番 号
DHP	71	16, 18, 21
DBP	100	16, 17, 21
DOP	71	16, 19, 21
DIDP	35	16, 21, 22

##### ※ 21日後の分解度

	分解度(%)	付 図 番 号
DOP	85	15, 16
DIDP	88	15, 16, 22

##### ※ 参考データ

ガスクロマトグラフ

	分解度 (%)	付 図 番 号
DHP	74	6, 7a, 7b, / 3
DBP	100	4, 5a, 5b, / 4
DOP	77	8, 9a, 9b, / 2
DIDP	40	10, //a, //b, / 2

※ 2 / 日後の分解度

	分解度 (%)	付 図 番 号
DOP	79	9c, 9d, / 4
DIDP	86	//c, //d, / 2

※ 参考データ